|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※整理番号 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告日： | 年　　月　　日 |

**２０２１年度弘前大学グロウカルファンド　完了報告書**

**（Grow×Local）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題名 |  | |
| 企業代表者  （企業名・役職・氏名） |  | ㊞ |
| 大学の研究開発担当者  （所属・役職・氏名） |  | ㊞ |
| 担当するURA等氏名 |  | |
| 研究開発期間 | 2021年 月 日　～　2022年 月 日 | |

※報告書内の枠の高さは適宜変更の上ご記入ください。

※印刷時は両面印刷で印刷してください。

1. 研究開発の総括（300字以内で目標、その達成度、今後の展開を記載。図表の使用は不可。申請書の「課題概要」の転記は不可。）

|  |
| --- |
|  |

1. 課題の詳細（申請書の「4.申請の内容　⑴企業概要・企業ニーズの詳細」のうち、企業ニーズ部分を転記。）

|  |
| --- |
|  |

1. 共同研究の目標と成果　　※⑴～⑸を合わせて4ページ以内（A4）でまとめてください。

|  |
| --- |
| ⑴研究開発目標  （申請書の「5.共同研究の内容　⑴研究開発目標」を転記してください。記載内容が変わらない程度の部分的省略は可。） |
|  |
| ⑵研究開発内容  （申請書の「5.共同研究の内容　⑵研究開発内容」を記載し、その内容に対しての実施状況記載してください。やむを得ない事情があり内容を変更した場合は、その理由を含め内容を詳細に記載してください。・実験等を実施した条件（材料、方法、機器構成等含む）については、第三者が実験内容を理解できる程度に、具体的に記載してください。・システム系の課題については、システムの概要説明と図示を加えてください。） |
|  |
| ⑶研究開発成果  （・達成状況について、具体的な数値を示しながら、定性的でなくできるだけ定量的に得られた研究成果を記載してください。根拠となるデータ、写真、図表などを付記してください。・「⑴研究開発目標」、「⑵研究開発内容」内の項目に対応するように項目立てして、研究成果に対する自己評価も踏まえつつ、記載してください。当初の目標を達成することが出来なかった場合は、その理由を記載してください。得られた研究成果から、今後の見通し（研究開発実施前後での見通しの変化、明確になった技術的課題など）について、記載してください。） |
|  |
| ⑷人材育成内容  （申請書の「5.共同研究の内容　⑶人材育成内容」を転記し、その申請書の内容に対しての実施状況を記載してください。やむを得ない事情があり内容を変更した場合は、その理由を含め内容を詳細に記載してください。）  例）企業と学生が協働して「地域企業のニーズの把握，課題解決方法の習得，地域の問題解決」等に取り組むことにより地域貢献の経験値を高め人材育成に貢献した等 |
|  |
| ⑸人材育成成果  （達成状況について、具体的な数値を示しながら、定性的でなくできるだけ定量的に得られた成果を記載してください。「⑴研究開発目標」、「⑷人材育成内容」内の項目に対応するように項目立てして、成果に対する自己評価も踏まえつつ、記載してください。当初の目標を達成することが出来なかった場合は、その理由を記載してください。得られた成果から、今後の見通し（研究開発実施前後での見通しの変化、明確になった課題など）について、記載してください。） |
|  |

1. 研究開発費の実績

（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | ファンド研究開発費 | | 企業自社開発費 | |
| 物品費  (設備備品) | ○○装置  △△機器 | 0,000 |  | 0,000 |
| 物品費  (消耗品) | ○○用消耗品 | 0,000 |  | 0,000 |
| 旅費 | ○○打合せ | 0,000 |  | 0,000 |
| 人件費・謝金 | ○○補助謝金 | 0,000 |  | 0,000 |
| その他 | ○○委託費 | 0,000 |  | 0,000 |
| 合　　計 | 0,000,000 | | 0,000,000 | |

1. 今後の展開

|  |
| --- |
| ⑴下記から当てはまるものを選んでください。  　公的な研究開発支援制度を活用して、産学共同に向けた研究開発を継続する  　　　【制度名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】  　公的な研究開発支援制度を活用して、産学共同の研究開発を実施する  　　　【制度名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】  　大学または企業の自己資金により、共同研究開発を実施する  　産学共同に向けた研究開発を中断・中止する  　その他  　【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】 |
| ⑵今後の進め方について |
|  |

６．事業化スケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 期間  項目 | 2022年度 | 2023年度以降 |
|  |  |  |